

生殖腺重量 (No1~4の魚体より摘出し算術平均したところ) 0,011gr

○ウルメイワシ科、きびなご属には2種あり

①きびなご *Spratelloides Japouicus* (HoU TTUYN)

シリ鰭 13軟条 胸鰭 14軟条

本洲中部以南

②*Spratelloides delicatulus* (BENNETT)

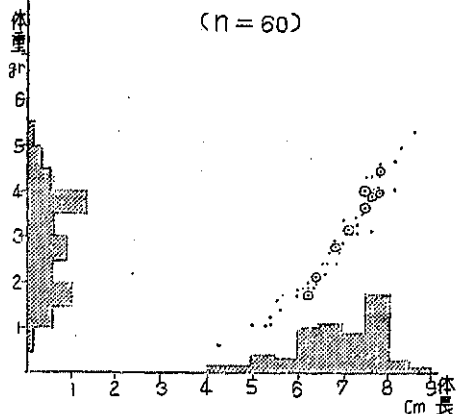
シリ鰭 9~10軟条 胸鰭 12軟条

奄美大島から濠洲まで

あり、査定の結果①の“キビナゴ”であった。

体重・体長の頻度と相関

(n=60)



合成繊維三重磯建網漁業試験

永野・岩倉・東郷

趣 旨 本郡に於けるアミラン製三重磯建網漁業は笠利龍郷方面で操業されているが現在の網は水深10尋程度のリーフ地帯を主に操業する漁具であり、珊瑚礁に棲息する魚族は一定され資源的にも問題があると思われられるので、リーフ外の水深12~20尋の沖合附近に来遊するハガツオ、メチカ、カツオ、アカバラ等を主体とした大型三重磯建網を作製して漁獲の増進を計り、併せて漁具の改良、漁民の啓蒙を目的に本試験を実施した。

調査概要

調査区域 瀬戸内地区

〃 期間 (オ一回) 昭和31年8月29日~ 9月1日 4日間

(オ二回) 〃 年10月5日~ 10月11日 7日間

調査船 オ一回 かもめ丸 (19.59馬 H.P50HP) 探磯丸 (1.74馬 ヤンマー4HP)

オ二回 探磯丸 (1.74馬ヤンマー4HP)

使用漁具 三重磯建網一統 (アミラン漁網)

経 過

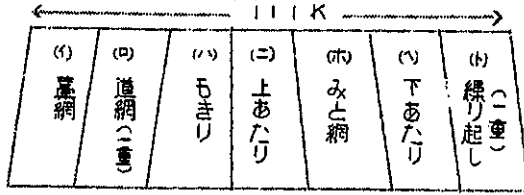
月日	天候	気温	風向力	水温	波浪	潮流向	投揚網時分	漁場番号	漁獲物	記 事	水深
8.29	O	29.2	E 2	27.9	1	S	(投)15h-30m	①	なし	久根津浦①漁場の海底を調査投網す	(尋) 7~15
.30	bc	29.0	SSE3	28.0	2	S	(揚)09h-30m (投)14h-20m	① ②	雑魚 2メ660匁	②漁場調査(海底)	
.31	bc	29.1	E 2	29.1	1	SE	(揚)10h-00m (投)13h-20m	② ③	雑 3メ400匁	③漁場調査をなし、投網す、荒瀬なく、操業容易であった。又附近にメチカの浮上あり	8~18
9. 1	bc	29.1	S 2	29.0	1	SSE	(揚)10h-00m (投)14h-10m	③ ④	雑 5メ080匁	油井小島北西岸は16H~25Hと急深となつている漁場で漁網敷設に困難をきたした④図の様敷設した、潮流や緩なり、網の沈下、張り具合良好	10~19
10.5	bc	28.2	SE2	27.0	1	S	(投)18h-20m	①		13h-45m古仁屋発 19h-00m帰港	7~15
.6	O	26.2	SE2	27.3	1	WNW	(揚)06h-50m (投)09h-20m	① ⑤	雑 2メ700匁	07h-05m発06h-50mより揚網瀬がより多く揚網容易ならず、08h-20m揚網終了見込なく油井小島⑥に向う潮流早く網成り悪し	〃
.7	O	26.2	SE2	27.0	1	S	(揚)07h-40m (投)08h-00m	⑤ ③	なし	07h-40m揚網終了も漁なし潮流速く揚網困難	〃
.8	bc	24.2	SW2	27.1	1	E	(揚)07h-10m (投)09h-50m	④	オボソ4メ800匁 雑 2メ030匁	07h-10mより揚網潮流や速く網揚らず繰越しの方にオボソ10尾の罹網を見る08-50この群を自的に少し沖に出すも深く浅所③に投網	10~19
.9	O	24.2	W 3	27.0	2	SE	(揚)07h-00m (投)08h-40m	〃	雑 3メ100匁	07-00より揚網開始潮流や速くサンゴ石灰岩の纏網多し08h40mほぼ同位置に投網	〃
.10	bc	23.2	calm	27.0	0	w	(揚)07h-00m (投)	〃	雑 880匁	07-00より揚網開始潮流殆んど停止し揚網容易漁事不振又岩石の纏絡多し網成り良好	〃
.11	O	23.2	calm	27.0	0	停	(揚)06h-50m	〃	雑 2メ000匁	潮流停止し揚網容易石の纏絡少きも漁事不振揚網せるまゝ帰港08-30	〃
計									26メ650匁		

考 察

大型三重磯建網は本群島では始めて試みられた網漁具であり本年当分場で作製した。本試験は瀬戸内海域で操業したが、漁場の形態及び潮流等の関係からメチカ、カツオ等の来游少く漁事は思わしくなかつた。今年も瀬戸内海域に限らず焼内灣江仁屋離島、笠利湾にて試験操業を実施出来なかつた事は残念に思う。来年度は外海域の各漁場に於ける漁期及び魚族の来游状況を調査し、併せて漁獲の増進を計りたい。

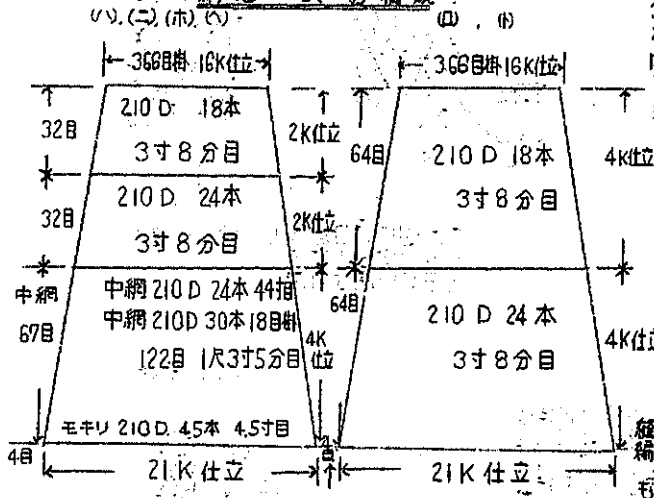
漁具の構造

各反の名称連結

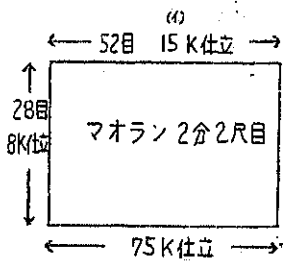
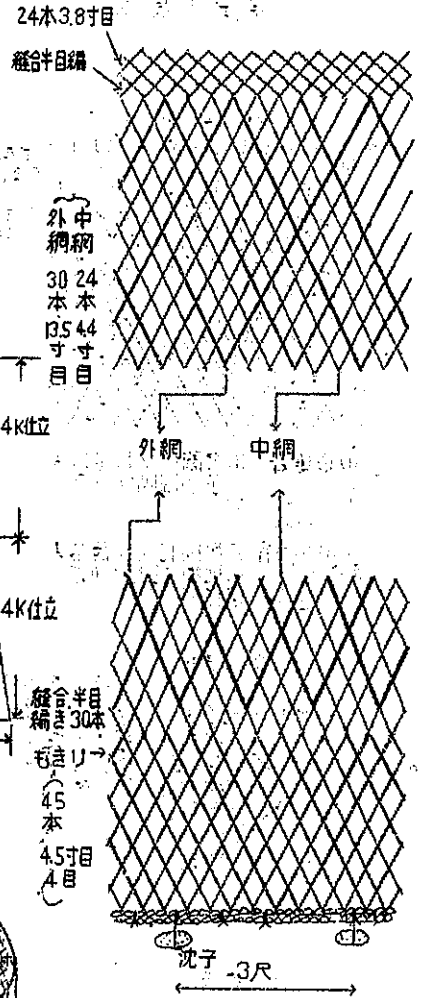


141 K 仕立

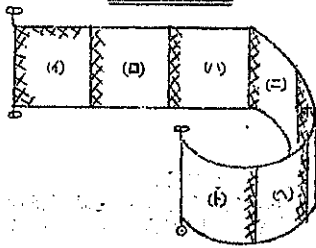
網地一反の構成



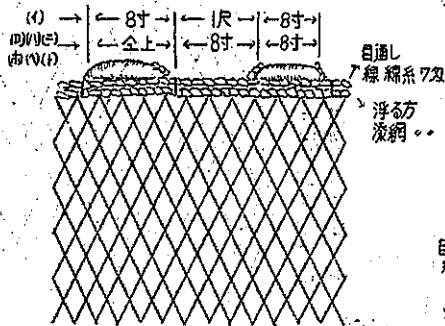
(a)(b)(c)(d)の三隻網構成図



操業図



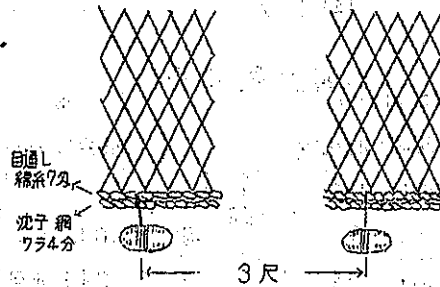
浮子方構成



(a) の場合 10尺間に7目を挿入
浮子の間隔は一尺と
す。

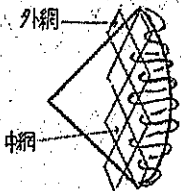
(b) の場合

(b) の場合 5尺間に23目を挿入
途中22目入孔を2
箇作る



5尺間に17目を挿入 途中18目入
孔を9回挿入する。
沈子の間隔は3尺

側の縁取



外網の下から1目迄は
外網の1目に中網の4
目を、他の外網7目
には、3目を挿入して縁
取る。

端の縫合



210 アミラン 45 本

説明

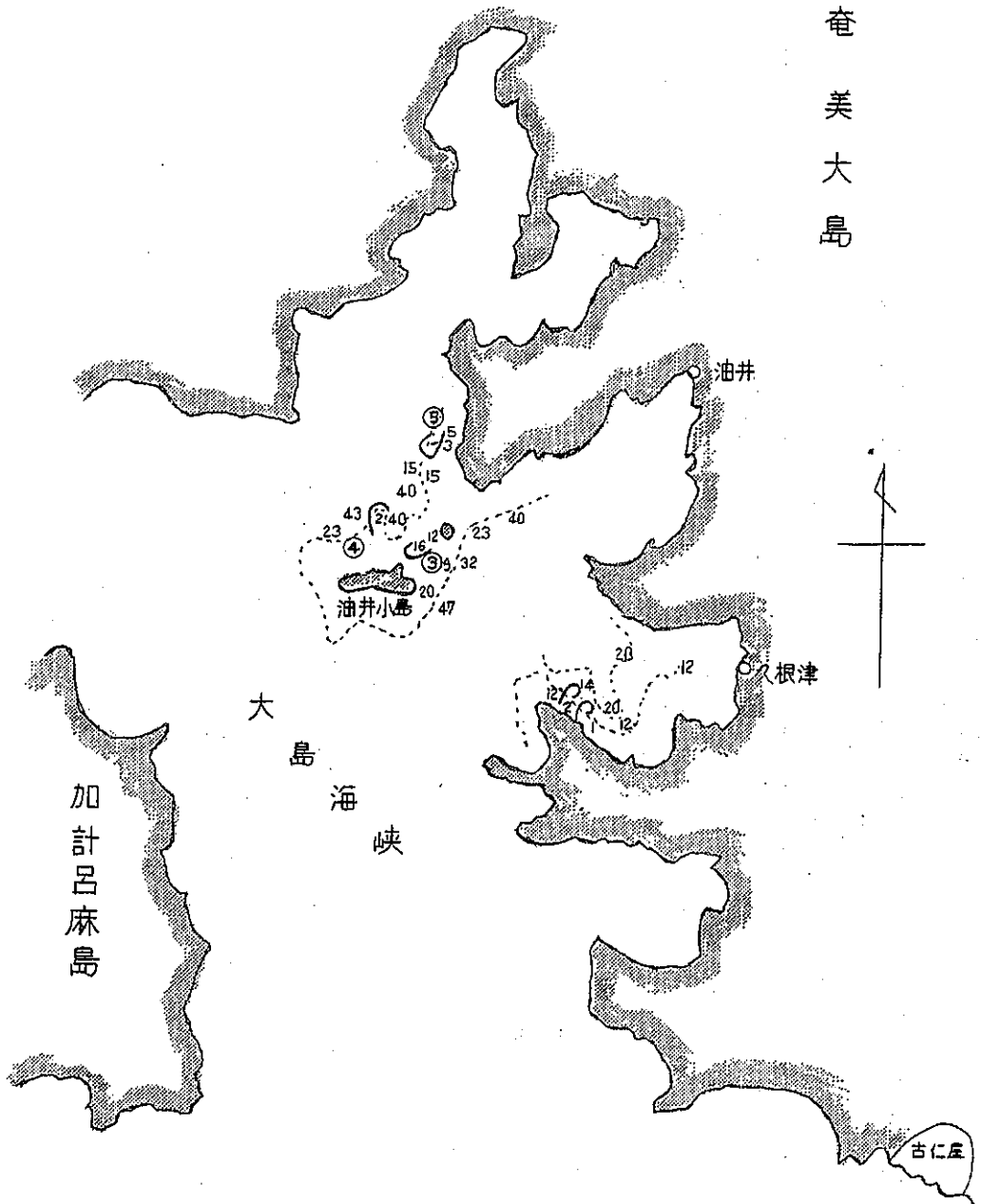
- (1) 網地は凡てカツチ色(薄色)とする。
- (2) 浮子方、沈子方縁網と中網は注文により同時に編網出来る
- (3) 外網は乙場で編網する場合は、17目掛、長さ983目、目合13.5寸目とする。
(上下共取付けに際しては半目づつ計1月増すから17目で可、
長さは122目×8(枚) = 976 + 7 = 983目の網が必要とする。
- (4) 各部の縮結

	・浮子方	3寸8×366(目)	≒ 28K	仕立とり	16K	≒ 4割3分
三重部	・沈子方	4寸5×366	≒ 33K		21K	≒ 3〃6〃
	沈子方	・外網下方	13寸5×122	≒ 33K		21〃
		・中網下方	4.4寸×366	≒ 32K		21〃
三重部	・外網上方	13.5寸×122	≒ 33K		18.5K	4〃4〃
	・浮子方	・中網上方	4.4寸×366	≒ 32K		18.5K

・中網のツブリ4寸4×67(目) - 13寸5×18目 = 5尺2寸≒1K

漁場圖

奄美大島



合成纖維漁網仕立指導

趣 旨

合成纖維漁網への転換を目的として奄美群島復興事業費により実施している補助事業（大島支庁商工水産課担当）であるが漁具の設計及仕立指導は当分場で実施した。

所属漁協、漁具名、期間、担当者

漁具名	統数	所 属	作 製 期 間	担 当 者		備 考
				支 庁	分 場	
飛 魚 浮 敷 網	1	笠利村漁協 佐 仁	31.10.27~11.7	志摩技師	永野・岩倉技師	
	1	喜界島 〃 小野 津	11.9~11.18	丸野主事	岩倉技師	
	1	沖永良部 〃 和 泊	11.18~11.26	畠山技師・南園主事	永野技師	
	1	龍 郷 村 〃 円	32.1.17~1.21	志摩技師	岩倉技師	
	1	笠 利 村 〃 屋 仁	1.21~1.26	〃	〃	
	1	沖永良部 〃 和 泊	1.26~2.6	丸野主事	松田・岩倉技師	
三 重 磯 建 網	1	沖永良部 〃 〃	31.9.21~9.30	—	松田・東郷技師	非補助対称 分場に於いて 指導
	3	瀬戸内町 〃 古 仁 屋	31.10.~11	畠山技師	—	
	1	笠 利 村 〃 赤 木 名	10.29~10.31	志摩技師・丸野主事	松田技師	
	1	龍 郷 村 〃 龍 郷	11.2~11.7	〃 〃	永野・岩倉技師	
	3	名 瀬 市 〃 大 熊	11.20~11.24	〃 〃	松田技師	
きびなご 四 張 網	2	名 瀬 市 〃 大 熊	11.25~11.27	志摩技師	〃	
	1	大 和 村 〃 今 里	11.28~11.30	〃	〃	
	1	宇 検 村 〃 宇 検	12.1~12.4	〃	〃	
	1	瀬 戸 内 〃 三 浦	32.1.10	畠山技師	〃	
	1	〃 〃 武 名	~1.11	〃	〃	
むろ敷網	1	大 和 〃 大 金 久	31.10.22~10.28	畠山・志摩技師	松田・永野技師	
きびなご 待 網	1	瀬戸内町 〃 武 名	32.1.10~1.11	畠山技師	松田技師	

飛魚浮敷網

(12節) 和泊町、2統
網地配置図

漁具設計書

漁具の構造

- (1) 重要寸法 浮子方総打廻し 32k 沈子方総打廻し 16k
 (2) 漁具の性状 箕状をした扇形面、両翼を有する敷網で浮子方は水面に浮上し沈子は水底に接着す。

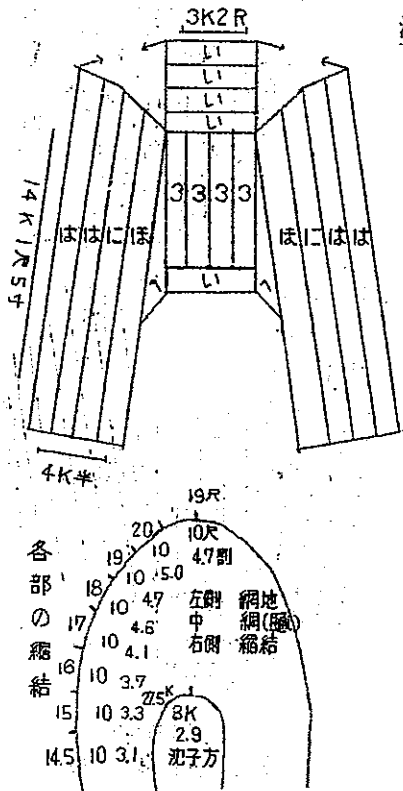
(3) 漁具の構成

I) 網地の部

名稱	符号	材 料	太 丈	目 合	掛 目	長 さ	反 数	總 長	備 考
囊 部	い	アマラン210D	9本	12節	100目掛	6k 2尺	4反	25k3尺	
囊 前	ろ	"	"	"	"	13	4	52	
	い	"	"	"	"	6 2	1	6 2	
囊 脇	は	"	"	"	"	25	4	100	
	に	"	"	"	"	25	2	48 2	片側普通斜斷
	ほ	"	"	"	"	23 1	2	44 4	"
三角網	へ	"	"	"	1~100~1	16 4	2	16 4	両側特殊斜斷

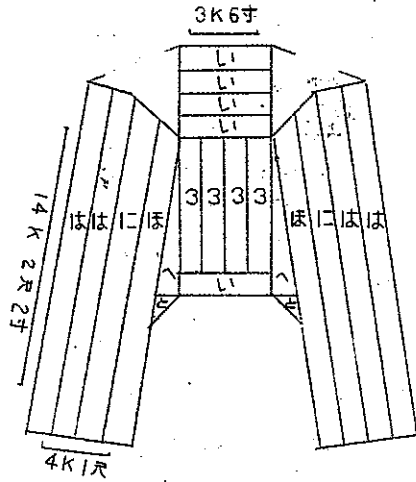
II) 網類その他の部

名 稱	材 料	規 格	数 量	備 考
浮 子 網	シユロ網	3分	45k	
浮子方目通し	"	1分	42	
浮子方添網	綿 糸	7匁	50	
沈 子 網	シユロ網	3分	17	
沈子方目通し	シ	2分	17	
浮 子	合成浮子		80ヶ	
沈 子	鉛	60匁	10ヶ	

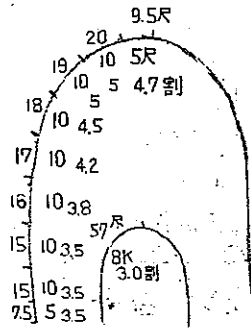


(16節) 笠利村2統・喜界島1統

網地配置図



各部の縮結



漁具の構造

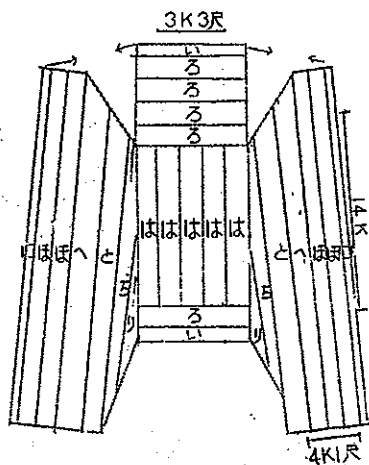
- (1) 重要寸法 浮子方総打廻し32k 沈子16k2
- (2) 漁具の性状 12節に準ず
- (3) 漁具の構成

I) 網地の部

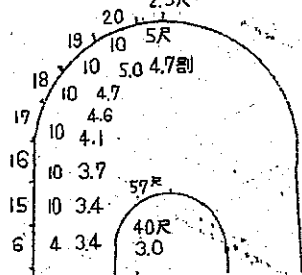
名称	符号	材料	太さ	目合	掛目	長さ	反数	総長	備考	
囊部	い	アマラン	210D	9本	16節	100目掛	6k 尺	4	24k 尺	
囊前	ろ	〃	〃	〃	〃	11 4	5	59		
	い	〃	〃	〃	〃	6	1	6		
囊脇	は	〃	〃	〃	〃	24 2	4	97 3	片側普通斜断	
	に	〃	〃	〃	〃	24 2	2	47 3		
	ほ	〃	〃	〃	〃	23 1	2	45 1		
三角網	へ	〃	〃	〃	〃	13	2	13		
〃	と	〃	〃	〃	〃	2 2	2	2 2		

II) 網類その他 12節に準ず

(18節) 竜郷村 | 統
網地配置図



各部の縮結
2.5尺

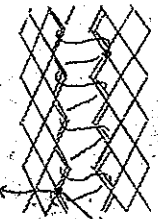


漁具の構造

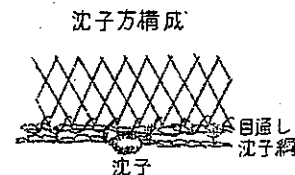
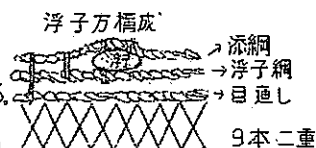
- (1) 重要寸法 浮子方総打廻し31K3尺 沈子方総打廻し16k
- (2) 漁具の性状 12節に準ず
- (3) 漁具の構成

名称	符号	材料	太さ	目合	掛目	長さ	反数	総長	備考
囊部	い	アマラン10D	9本	18節	50目掛	7k 尺	1		7 k
	ろ	"	"	"	100	7	4	28k	
囊前	は	"	"	"	"	11 4	6	68.2	
	ろ	"	"	"	"	7	1	7	
囊脇	い	"	"	"	50	7	1		
	に	"	"	"	50	24	2	24	
	ほ	"	"	"	100	24	4	96	
	へ	"	"	"	"	24	2	46.42	片側普通斜断
三角網	と	"	"	"	"	22 42	2	44.26	"
	ち	"	"	"	"	16	2	16	両側特殊斜断
	り	"	"	"	"	10 4	2	10.4	"

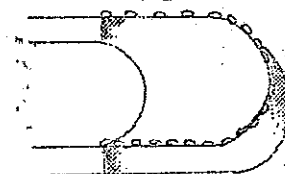
網類は12節に準ず
縁とりの要領 反と反の縫合



• は結付する5寸間隔位で左右交互に結付す。左図の方法は左



操業図



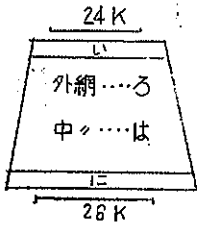
三重磯建網

漁具の構造

- (1) 重要寸法 一反分仕立上 浮子方24k 沈子方26k 網丈8尺2寸
- (2) 漁具の性状 長い带状の網 三重部は目合の小さい中網と荒い外網とよくなる。水底に設置し、浮子は水面に浮上せず 4反を使用する。

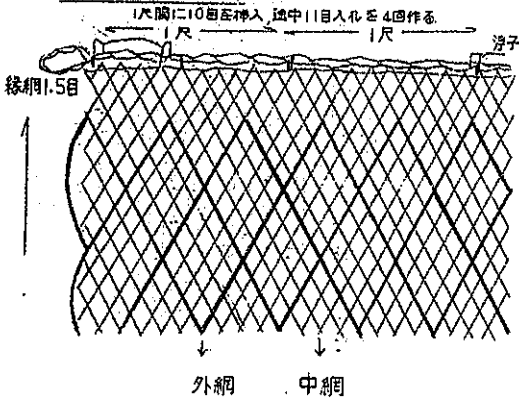
漁具の一反分構成

網地の配置



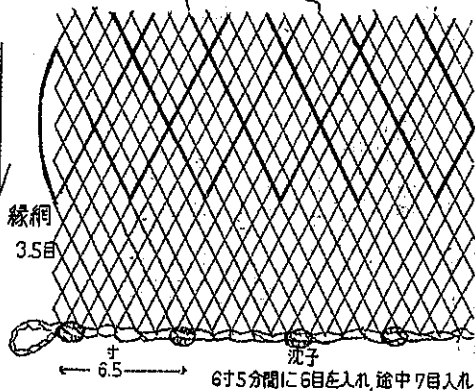
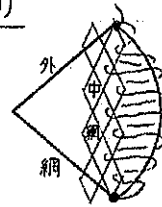
い、網子方縁網	アマラン210D	9本	7節	1.5目掛	長さ1.204目
ろ、外網	〃	〃	〃	6.6寸目	14〃 301目 2反
は、中	〃	6本	7節	74〃	1.204目
に、沈子方縁網	〃	9本	7〃	3.5〃	1.204目
浮子網	シュロ網	2分経	25k	1条	
目通糸	綿糸	20#60本	25k	1〃	
沈子網	シュロ網	2.5分経	27k	1〃	
目通糸	綿糸	20#60本	27k	1〃	
浮子	桐浮子	5×0.8×0.8寸	(1ケの浮力50g)	60ケ	
沈子	陶器	1ケの重量75g	(沈降40g)	200ケ	

浮子・沈子方構成

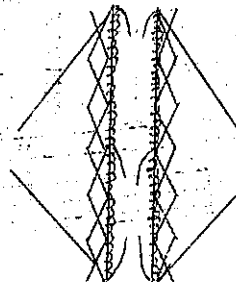


綿糸60本を適當の間隔に取付け左右結び合すようにする。

側の縁取り



端の縫合



きびなご四張網

漁具の構造

- (1) 重要寸法 12k四方の網
- (2) 漁具の性状 風呂敷状の敷網で浮子を有せず水中に沈敷し四方より網を以て張下する錨は使用せず

(3) 漁具の構成

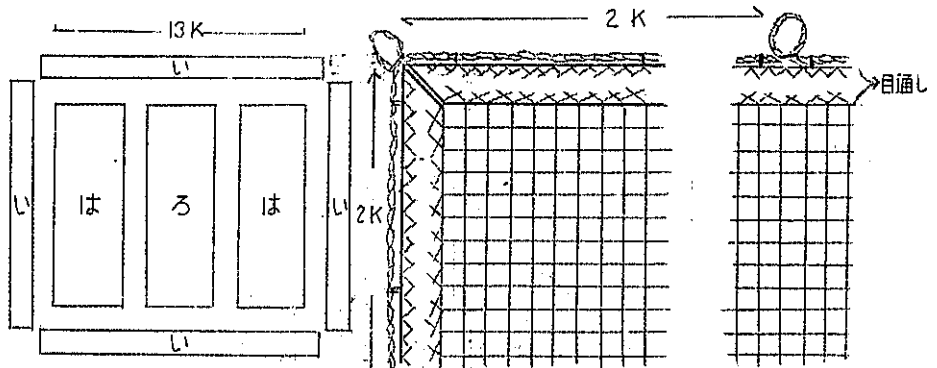
I) 網地の部

い、縁網	綿糸 20#45本	6節	11目掛	23k	切り 4反	総長 92k
ろ、身網	クレモナ 綴子網	6本	120経	小巾もの	12k	12" 144"
は、	"	"	105経	"	12k	14" 168"

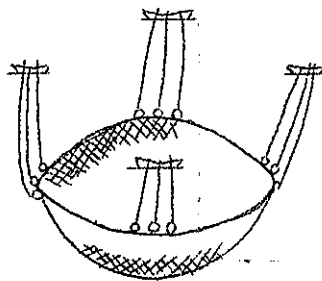
II) 網の部

浮子網	しゆる網	4分経	55k
目通し	綿糸	7匁	110k

網地配置図



操業図



きびなご待網

漁具の構造 (魚捕部のみ)

- (1) 重要寸法 浮子方 42k 沈子方 19K
- (2) 漁具の性状 箕状の網にして水底に定置し浮子は水面に浮上垣網を両側に有す。鯉餌料用きびなごを採捕する。
- (3) 漁具の構造

い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、る、を、	クレモナ 縋子網	6本	120経	小巾の もの	4k4尺切り	1反	総長	4k4尺	
ろ、	"	"	"	"	5. 15 "	16"	20.	4	
は、	"	"	"	"	6	18"	216		両側計36反
に、	"	"	"	"	6	16"	192		" 32"
ほ、	"	"	"	"	3	2"	3		3kものを斜断
へ、	"	"	105	"	15. 3	27"	842.	4	両側計54反
と、	"	"	"	"	15	2"	27		両側計2反
ち、	"	"	"	"	12	2"	21		斜断面の長さ
り、	"	"	"	"	9	2"	15		3k
ぬ、	"	"	"	"	6	2"	9		
る、	"	"	"	"	3	2"	3		
を、	綿糸	20#	30本	7節	8目掛	135尺切り	1"	27	

網地配置図

